

# 第5次蓬田村行政改革大綱

# 実 施 計 画

計画期間 平成30年度～平成34年度

平成30年3月 策定

# 1. 事務事業の見直し

## (1) 事務事業の整理合理化

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		3 0	3 1	3 2	3 3	3 4
①学校給食センターの今後の管理運営に関する検討	●学校給食センターの管理運営については、直営継続か民間委託するか協議を進める。	検討	→	→	→	→
②スクールバス等の車両部門、コミュニティバス事業の見直し	●コミュニティバス事業については、人件費等運行経費の削減に努める。 ●車両部門については、運行経費の削減に努める。	継続実施	→	→	→	→
		継続実施	→	→	→	→

## (2) 規制緩和の推進

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		3 0	3 1	3 2	3 3	3 4
①許認可等の事務手続きの簡素化	●重要なものを除き、各種申請等の簡略化、公共施設の使用許可申請書等に係る押印廃止については、対応可能なところから順次取り組む。	継続実施	→	→	→	→

## (3) 民間委託等の推進

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		3 0	3 1	3 2	3 3	3 4
①施設等管理運営の民間委託促進	●施設の管理運営に民間の能力を活用し、住民サービスの向上、維持経費の削減を図る。温泉施設のふれあいセンターについては、管理受託者の利用料金收受方式を継続し、企業努力による運営を推進する。物産館については、更なる収益増と施設管理費の縮減に努める。	継続実施	→	→	→	→





## 4. 定員管理及び給与の適正化

### (1) 定員管理の適正化

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		3 0	3 1	3 2	3 3	3 4
①人員配置の見直し	●各課の事務量変動の点検を実施。新規行政需要には人員配置の見直しにより対応し、少ない人員で効率的行政運営を目指す。	随時見直し	→	→	→	→
②新たな定員適正化計画の策定	●29年度以降の退職予定者を考慮に入れながら、財政状況、新規行政需要の動向、合併等の自治体を取り巻く状況変化を踏まえながら、計画的な定員管理に努める。 計画の策定 平成29年度 計画年度 平成30年度～平成34年度	実施	→	→	→	→
③パート職員で対応可能な部署のパート化	●用務員等パート職員で対応可能な部署については、今後退職者不補充等により、順次パート化を図る。 <現在の常勤用務員配置状況> 蓬田小学校 1人 ふるさと総合センター・ トレーニングセンター パート対応済 蓬田中学校 パート対応済 庁舎 パート対応済	継続実施	→	→	→	→

(2) 給与の適正化

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		3 0	3 1	3 2	3 3	3 4
①適正な給与制度の維持	●国、県人事委員会の勧告を尊重するとともに、人件費の抑制を図りながら、村民の理解を得られる給与制度の維持に努める。	人勧等参考に見直し検討	→	→	→	→
②諸手当の見直し	●社会情勢の変化に応じた諸手当の見直しを図る。 1) 時間外勤務手当の緊縮のため、代休での対応する。	継続実施	継続	→	→	→

5. 人材育成の推進

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		3 0	3 1	3 2	3 3	3 4
①職員研修の充実、自己研鑽意識の向上	●地方分権に対応できる組織全体のレベルアップと職員一人ひとりの能力開発を目指し、採用に始まり、昇格とリンクした必修研修、専門的な選択研修の充実により、自己研鑽意識の高揚を図る。	継続実施	→	→	→	→
②職員提案の積極的採用	●政策立案、事務事業の改善等に対する職員提案を積極的に受ける体制をつくり、庁議に図るなど積極的に採用する。	継続実施	→	→	→	→
③透明性の高い人事評価制度の活用	●職員の人材育成と組織の活性化を図るため、職員の能力及び業績を客観的に評価し、公正で公平な人事管理を実施する手法として人事評価制度を活用する。また、評価者研修の実施等により、人事評価制度運用の向上を図る。	継続実施	→	→	→	→
④計画的な人事異動	●人事異動については、行政分野（課）ごとに、業務に見合った最低限の在職期間の目安を設定するなど、業務の継続性、円滑性の確保に配慮する。	継続実施	→	→	→	→

## 6. 行政の情報化等行政サービスの向上

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		3 0	3 1	3 2	3 3	3 4
①窓口等の対応改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民にとって、わかりやすく、利用しやすい窓口の実現のため、縦割り主義的な対応の是正、接客接遇マナー、電話対応の向上等、住民の立場に立った行政サービスを推進する。</li> <li>●平成 16 年度から特に来客の多い班のカウンターに職員を直接配置。今後も速やかな対応を目指し職員配列の改善に努める。</li> </ul>	継続実施	→	→	→	→
		継続実施	→	→	→	→
②行政の情報化推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国の電子政府、電子自治体構築に向けた取り組みを踏まえ、LGWAN（総合行政ネットワーク）に対応できる庁内 LAN の整備、端末パソコンの整備推進。</li> <li>●村のホームページ等インターネットを通じ、住民からの意見・提言、問い合わせ、行政情報の積極的提供に取り組む。</li> </ul>	継続実施	→	→	→	→
		継続実施	→	→	→	→
③情報セキュリティポリシーの確立と個人情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>●蓬田村の情報資産の機密性、安全性の確保を図るため、蓬田村情報セキュリティポリシーの適正な運用に取り組む。 (H16.4.1 施行)</li> <li>●個人情報保護条例の制定、施行により、村が保有する個人情報の適正な取扱いと管理に努める。電子計算機処理等の外部委託事業者については、業務遂行上の個人情報保護体制を義務付け、住民からの信頼維持向上を図る。 (H16.4.1 施行)</li> </ul>	継続実施	→	→	→	→
		継続実施	→	→	→	→

## 7. 公正の確保と透明性の向上

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		3 0	3 1	3 2	3 3	3 4
①行政手続・情報公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政手続条例や情報公開条例により、行政の公正さと透明性の向上を図る。</li> <li>●情報公開に対応できる行政文書の適正な管理と整備を図る。現在中央公民館に保管している文書保存箱については、課毎に再整理し、情報開示に速やかに対応できる状態にする。</li> </ul>	継続実施	→	→	→	→
		継続実施	→	→	→	→
②監査機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適正で効率的な行政運営の確保を図るため、監査委員による監査機能の強化、充実を図る。</li> </ul>	継続実施	→	→	→	→
③住民への情報提供による開かれた村政の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政懇談会の開催、アンケート調査、ホームページ等により、村の重要な政策決定にあたっては、住民の行政への積極的な参画を求めながら、住民意志の把握・反映に努める。</li> <li>●第5次行政改革大綱の内容、進捗状況を広報紙を通じ住民にわかりやすく公表する。</li> <li>●職員給与の状況を引き続き広報等に公表する。</li> <li>●広報紙、ホームページの充実を図り、住民と情報の共有化推進を図ります。</li> </ul>	継続実施	→	→	→	→
		公表	継続	→	→	→
		公表 継続実施	継続 →	→ →	→ →	→ →

## 8. 経費の節減合理化・財政の健全化

### (1) 財政運営の適正化

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		30	31	32	33	34
①経常収支比率の目標値設定	●中長期的な財政シミュレーションによる財政運営計画の徹底管理と厳格な運営を図る。経常収支比率90%未満を目標とする。公債費の可能な限りの抑制、地方債の繰り上げ償還に努める。	継続実施	→	→	→	→
②長期総合計画に基づいた経費の重点配分	●長期総合計画のローリングにおいて、各種事業の優先順位をつけ、政策的経費への重点配分を行う。緊急性投資効果の低いものは廃止、縮減を図る。	ローリング	→	→	→	→

### (2) 財源の確保

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		30	31	32	33	34
①課税客体の把握と収納率向上	●自主財源確保のため、村税等の課税客体の的確な把握、滞納整理の強化による滞納繰越分の解消、収納率95%以上を目標とする。 ●時効前で差し押さえ可能なもの、支払い能力がある長期滞納者等については重点的な滞納解消取り組みを行う。 ●収納率向上を図るための職員の重点配置を検討する。	継続実施	→	→	→	→
		継続実施	→	→	→	→
		継続実施	→	→	→	→
②使用料・手数料等の適正化	●使用料・手数料等については、住民負担の公平確保と受益者負担の原則に立ち、定期的な見直しを行う。 1)各種施設使用料については、定期的に見直し。	検討	実施	→	→	→
③村有地等の適正管理	●村有地の利活用状況を調査分析し、未利用地や長期貸付となっている遊休地については、売り払い等を検討する。又、法定外公共物の譲渡に合わせ、財産管理台帳の整備を進め、村有財産の適正管理に努める。	調査分析 検討	実施	→	→	→

### (3) 物件費等の節減合理化

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		3 0	3 1	3 2	3 3	3 4
①内部管理費の徹底節減	●事務用消耗品の総務課集中管理、備品購入費、庁舎等施設の光熱水費、通信運搬費等の内部管理費の徹底節減。 ●利用度の低い法令等の追録購読中止。	継続実施	→	→	→	→
		継続実施	→	→	→	→
②ゴミ減量化、リサイクル等環境に配慮した職場づくり	●不必要な照明の消灯、OA 機器の節電、暖房の適温管理、公用車のガソリン等の使用量削減、用紙類の使用量削減、節水等による経費の節減、書庫の整理や廃棄処分により出される庁内の古紙類のリサイクル促進に努める。	継続実施	→	→	→	→

## 9. 公共施設関係

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		3 0	3 1	3 2	3 3	3 4
①施設の利用率向上と利用率の低い施設の見直し	●玉松台スポーツガーデン、ふるさと総合センター、農業者トレーニングセンター、水産加工施設等の集客アップ、利用率向上に取り組み、施設経費の財源確保に努める。 ●施設の利用者の動態、利用状況を分析し、必要に応じ廃止、縮小、他の利用目的への転用等改善措置に努める。	継続実施	→	→	→	→
		調査検討	→	→	→	→

## 10. 公共工事関係

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		30	31	32	33	34
①入札制度の透明性の確保	●入札制度については、「蓬田村建設工事指名業者等選定要綱」の制定、建設業者等指名審査委員会の開催、予定価格の公表、入札、契約業務の行政班一括処理等の改善に努めてきたが、更に透明性と公平性の確保を図るため、ホームページに掲載など様々な試みと改善に取り組みます。	継続実施	→	→	→	→

## 11. その他

実施項目	内 容	実 施 期 間				
		30	31	32	33	34
①広域行政関係	●消防防災・救急業務、廃棄物処理対策、地域振興、介護認定審査会等の広域的な共通課題に取り組む「青森地域広域事務組合」の事業運営、予算・決算等については、構成自治体のチェック体制を強化し、分担金の縮減等行政改革推進を求める。	継続実施	→	→	→	→
②議会の活性化	●村における新たな行政改革の趣旨を尊重し、組織、運営、経費の合理化等、議会における自主的な検討を要望する。 ●地方分権が進むなか、議会の果たす役割は大きなものがある。住民に身近な議会として、議会活動の一層の活性化を推進する。	継続実施	→	→	→	→
		継続実施	→	→	→	→